

# 上田市 交流・文化施設等整備計画（概要版）

平成 21 年 12 月



上 田 市

（イラストはイメージです）

## 交流・文化施設等の整備に向けて

文化芸術は、人間の感性を磨き、生きる支えになるとともに、地域のポテンシャルを高めるなど、それ自体価値があると同時に、地域活動のあらゆる側面に好影響を与えるものです。

例えば、文化施設における公演や展示、及びコンベンション等での集客や、講座やワークショップなどでの定期的な来場者は、まちに賑わいと活気をもたらし、観光や商業、地場産業などを含めた経済活動に好影響を与えることでしょう。学校現場であれば、音楽教育や美術教育のみならず、国語教育や自己表現能力の育成のために演劇や美術を取り入れることにより人格形成にも大きく寄与します。

また、福祉施設や公民館などへの出前公演などは、これまで公演に触れる機会が少なかった人々に心の潤いを提供し、医療や福祉の現場では、音楽や美術による療法も行われています。さらに、建築やまちづくりに美術やデザイン性を取り入れるのは当然のこととなってきました。

このように、文化芸術は、目に見える形でもまた目に見えない形でも市民生活になくてはならないものであり、市民と行政の各分野における横断的な連携によって充実していくものといえます。

心のゆとり、豊かさが求められる今日、上田市においては、文化を基調とする独自性を生かして自立的に発展していくことが求められています。しかし、その拠点施設や市民活動支援の取組における満足度は高いとは言えない状況にあります。

今回の整備はこうした状況をチェンジする絶好のチャンスと捉え、他の既存ホール等の公共施設、また民間の文化施設・美術館などと役割分担・連携を図りながら、既存ストックも十分に活かしつつ、トータルとして地域の文化力や魅力を、充実・アピールしてまいります。

さらに、本施設を地域の魅力と活力を作る一つのシンボル施設として位置付け、上田市が有する地域文化や歴史的・文化的遺産などの資源を活かし、地域の将来を担う子どもたちの育成、教育や福祉・医療面との連携による行政効果、そしてまちに賑わいと活気をもたらす、観光や商業、地場産業などを含めた地域経済にも大きな波及効果をもたらす施設として、心豊かな市民生活と都市創造を同時に実現してまいります。

本整備計画の策定にあたっては、「交流・文化施設等整備検討委員会」で、約一年をかけた大変熱心なご議論があり、その結果として本年8月「JT開発地における交流・文化施設のありかた検討結果報告書」をいただきました。

この結果を尊重し、とくにこのなかにある、「基本理念の根底にあるべきものは『育成』であります」との言葉を踏まえ、未来を担う子どもや青少年及び市民生活を育み、同時に地域も育んでいくために、文化芸術の持つ力を地域活動の多くの側面に活かし、市民が誇りに思い市民とともに歩む施設づくりを目指してまいります。

なお、この施設整備は、平成19年10月に制定した「上田市民憲章」をはじめ、「第一次上田市総合計画」「上田市文化芸術振興に関する基本構想」等の長期ビジョンに基づき、その理念実現のため行うものです。

## 上田市民憲章



上田市は 千曲川の清流と菅平高原から美ヶ原高原までひろがる豊かな自然や  
先人の築いた歴史と文化を大切にするまちです

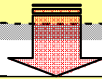
わたくしたちは 上田市民であることに誇りと責任を持ち 未来への発展を  
願って ここに市民憲章を定めます

- 1 美しい自然を守り 歴史や伝統に学ぶ 文化の薫るまちをつくります
- 1 共に尊重し合い 平和を愛し やさしさあふれるまちをつくります
- 1 未来を担う子どもらが健やかに育つ 夢あるまちをつくります
- 1 多彩な産業と資源をいかし 希望と活力みなぎるまちをつくります

### ◎まちの将来イメージ

(おおむね10年後の上田市のあるべき姿)

- 社会環境の変化に強い、自立するまち
- 豊かな自然に育まれ、人々が行き交うまち
- 上田市に住む誇りと満足感が得られるまち



○広範な市民が集える交流・文化拠点が整備されており、上田市の  
シンボルとなって、新たな地域文化の創造や都市間交流の舞台と  
して活用されています。

## 第IV章 文化芸術の継承と創造のために

### ② 広域的な文化交流をも視野に入れた新たな文化拠点づくり

文化芸術活動は、市民一人ひとりの生活を心豊かにするだけでなく、  
人の環を広げ、活気あふれるまちづくりの力となるものです。新生「上  
田市」の将来像「生活快適都市」を目指していくにあたり、広範な市民  
が集い、広域的な文化交流の舞台として機能する、新たな文化拠点の整  
備が必要です。

市民の文化芸術活動の中心となり、また質の高い文化を享受・発信で  
き、広域的な交流によって文化芸術活動の環が広がる、新たな文化拠点  
の形成に取り組みます。



## 新しい交流・文化施設は、こんなことができる施設です(事業計画)

### ■ こころの豊かさのために(全ての世代の方々へ)

#### ○ 様々な公演・展示が楽しめます

これまでの上田市では少なかった、様々な舞台芸術公演や美術展示などをお楽しみください。

2008キッズプラザのワークショップ



#### ○ 各種の講座やワークショップ(参加・体験型講座)で新たな世界を体験

文化芸術に関わる各種の講座、演技の体験、珍しい楽器の演奏、身近な素材を用いた美術作品製作の体験講座など、はじめての人も、ぜひ文化芸術の新たな扉を開いてください。

写真提供：小美玉市四季文化館(みの〜れ)

#### ○ 公演や展示、イベントなどを自らの手で

上田市をテーマにした市民ミュージカルや屋外イベントなどを、出演者として、また裏方として、一緒に創造していきましょう。新たな自己実現や出会い・交流の場となります。

写真提供：ワンダーアートプロダクション



#### ○ 文化芸術を、気軽に楽しく、生活のなかに

昼の時間帯に1時間程度で楽しめるコンサート、小さいお子さんを連れての芸術鑑賞など、それぞれのライフスタイルに合った、「気軽」で「身近」な文化芸術をお楽しみください。

原田泰治の世界展 in 上田

#### ○ 知的により深く味わいましょう

ホールの裏側を覗くバックステージツアー、学芸員による展示紹介ツアーなど、ドキドキ、わくわく、皆さんの好奇心を刺激します。

単に公演や展示を見るだけにとどまらない、新たな発見や感動が得られることでしょう。

写真提供：ワンダーアートプロダクション



#### ○ 文化芸術を「お届け」します

教育や福祉の場へ、アーティストやスタッフが出かけます。

演劇やダンス指導、音楽療法や演劇療法など、身近な場に文化芸術が訪れることで、新たな体験が広がります。

施設やスタッフを積極的に活用してください。

## ■ 子どもたちの未来のために

- 子どものときから文化芸術を身近に  
芸術鑑賞会や屋外イベントなどで、地域の宝である子どもたちが文化芸術に触れる機会を増やします。  
子どもたちの豊かな心を育てましょう。

写真提供：Hona Mac Ginty



- 新たな価値観に出会える場となります  
テレビや雑誌などではあまり見たことがない現代劇や海外の民族音楽など、驚きや感動に満ちた新たな世界との出会いが、子どもたちの感性を磨きます。

写真提供：ワンダーアートプロダクション



- 一人で、親子で、文化芸術を「体感」してください  
子どもたちが親と一緒に音楽・演劇・美術を楽しんだり、一人でものづくりに挑戦します。芸術活動やものを作ることを体感することで、新たな喜びを発見することでしょう。



- 外でも楽しく、元気いっぱい！  
施設の外には広々とした芝生広場と、賑わいの空間が広がります。  
ご家族そろって楽しみましょう。

## ■ 文化活動を行う方々へ

- 何でも相談してください！  
日常の文化活動における課題、指導者紹介、類似団体との交流など、何でも相談できる窓口を設け、文化活動の継続と向上を支援します。  
また、新しい舞台機構・設備を用いた効果的な演出方法など、施設をより有効に使っていただき魅力的な公演・展示ができるようお手伝いします。



写真提供：IFA



写真提供：ワンダーアートプロダクション

- 文化芸術による自己表現を  
合唱・アンサンブル・バンド向けの練習室、ダンスの練習に使えるリハーサル室、美術活動を楽しめるアトリエ、伝統文化に対応した和室など、様々なジャンルの文化活動にご利用ください。

写真提供：Wade Rockett



## ■ 地域の活性化のために

- 様々なコンベンション利用を  
大会・総会・式典・講演会・説明会・会議・展示など・・・、各種団体や企業の皆さん、この施設を大いにご利用ください。  
施設が持つ様々な機能により、コンベンション利用の可能性が広がります。
- 昼も夜も、常に人が集う場を目指します  
時間帯や曜日を限定せず、わいわい、がやがや、常に人が訪れる、賑わいの空間を目指します。

# 整備計画本文（抜粋）

## 1 基本理念と機能

### ○ 基本理念

#### 「人にやさしい 夢と未来を紡ぐ 創造都市うえだ」

- ・「人にやさしい」…多様な価値観を認め合い、分かち合うことで心の豊かさ・やさしさを育てる、教育面や福祉面にも広がる理念
- ・「創造都市」…活発な創造活動により様々な芸術・文化の醸成や豊かな生活文化が育まれ、持続的発展を遂げていく都市像を表現

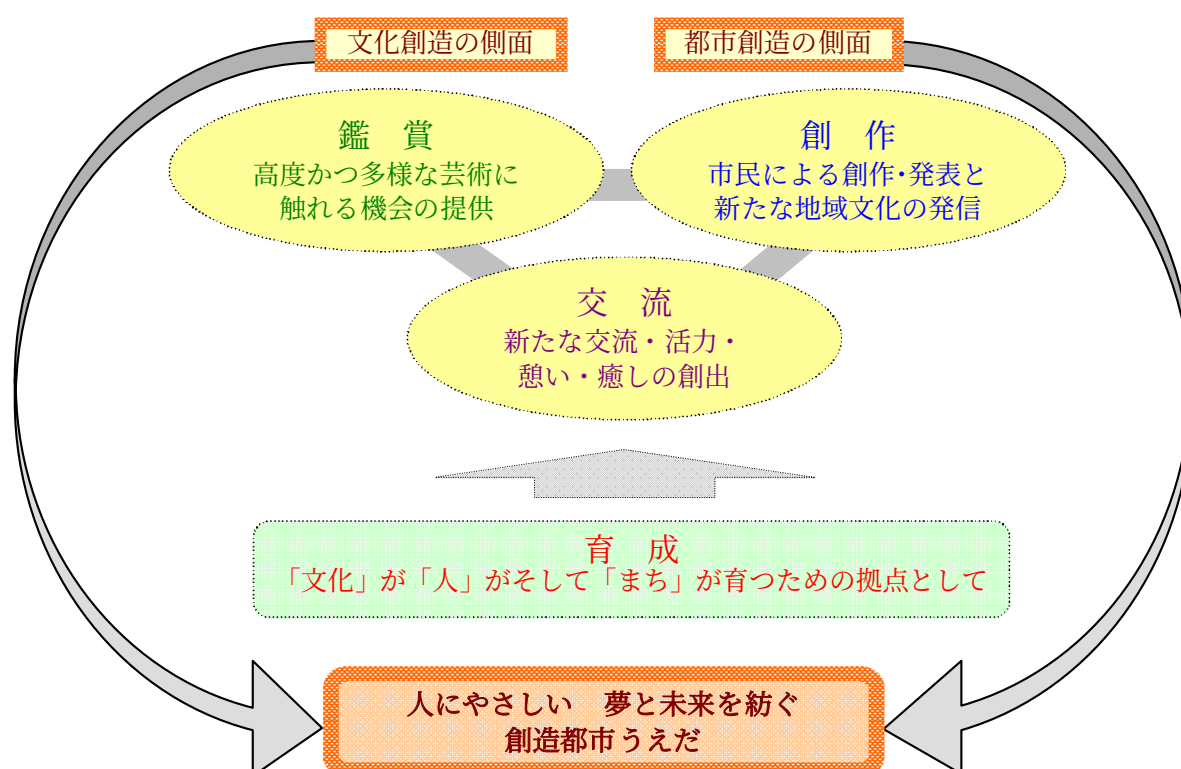
基本理念の根底にあるものは『育成』。

- ・文化芸術が育つことは、すなわち「人」が育つということ、とくに次世代を担う子どもたちを、良質な文化的生活環境のなかで心身ともに健やかに育てていく必要があります。

「人」が育つということは「まち」が育つことへとつながる。

- ・育成の取組みが醸成された地域文化を形成するとともに、まちの賑わいや活力を生み出す拠点として、魅力溢れるまちづくりへの架け橋となります。

【交流・文化施設が果たす役割のイメージ】





## 2 施設整備方針

### ○ 基本的な考え方

- ① 「歴史や伝統に学ぶ文化の薫るまち」実現に向けての中核となる施設
  - ② 市民誰もが等しく気軽に利用でき、親しみ、憩える施設
  - ③ 新たな交流や賑わいを創出し、地域の活性化につながる施設
  - ④ 環境、景観、安全等に配慮した、人にも地球にも優しい施設
  - ⑤ 新上田市、東信濃地域に広がる文化圏のシンボルとなる施設
- (加えて)
- ・ 施設全体を連携させた配置とし、複合的な機能をも持たせる
  - ・ 周辺地区との人の流れ、まちのつながりを総合的に計画していく
  - ・ 地球温暖化を抑止する低炭素社会の実現を見据えた整備
  - ・ ユニバーサルデザインに基づく設計、シンプルで機能的なデザインを基本とし、非日常的な空間の演出などデザイン面にも配慮

### ○ 全体施設構成・規模と配置イメージ

#### (1) 全体施設構成・規模

| 建物      |                                                 |         | 敷地面積 約 15,000 m <sup>2</sup> | 延床面積 約 17,000 m <sup>2</sup> |
|---------|-------------------------------------------------|---------|------------------------------|------------------------------|
| ホール部分   | ・ 大ホール (1,700 席程度)<br>・ 小ホール (300 席程度)          | ・ 他付帯施設 |                              | 約 9,100 m <sup>2</sup>       |
| 美術館     | ・ 常設展示室、企画展示室、市民ギャラリー<br>・ アトリエ、収蔵庫             | ・ 他付帯施設 |                              | 約 2,500 m <sup>2</sup>       |
| 交流施設    | ・ リハーサル室、多目的ルーム、練習室、会議室<br>ボランティアルーム、エントランスホール等 |         |                              | 約 2,400 m <sup>2</sup>       |
| 管理部門    | ・ キッズスペース、総合案内、事務室、施設管理<br>関連諸室・共有部分            |         |                              | 約 3,000 m <sup>2</sup>       |
| 市民緑地・広場 | ・ 芝生広場、交流広場、桜並木等                                |         |                              | 約 18,000 m <sup>2</sup>      |
| 駐車場     | ・ 普通車約 400 台、大型車 (必要台数分)                        |         |                              | 約 12,000 m <sup>2</sup>      |
| 全体面積    | 全体敷地面積                                          |         | 約 45,000 m <sup>2</sup>      |                              |

### ○ 各施設の規模・機能

各施設の具体的な規模 (床面積・座席数)・構造等の決定は、今後設計等を進めていくなかで、さらに建設費の節減等にも留意しながら、慎重に判断してまいります。

- ・ 大ホール：1,700 席程度。音楽、演劇、大会、集会等多目的に利用できるホール  
※客席可変装置については今後検討
- ・ 小ホール：300 席程度。音楽系を中心とした市民が利用しやすいホール
- ・ 美術館：2,500 m<sup>2</sup>程度。常設・企画展示や市民が気軽に創作活動・発表等を行う場
- ・ 交流施設：2,400 m<sup>2</sup>程度。市民の主体的な文化活動を支え、自由に交流できる場
- ・ 市民緑地・広場：18,000 m<sup>2</sup>程度。賑わいと憩い・安らぎの空間

### 3 建設費計画

---

#### ○ 施設建設費の試算(上限値)

|         | 単価(千円/㎡) | 面積(㎡)  | 建設費(億円) |
|---------|----------|--------|---------|
| 大ホール(※) | 680      | 8,100  | 55      |
| 小ホール    | 1,000    | 1,000  | 10      |
| 美術館     | 600      | 2,500  | 15      |
| 交流施設    | 400      | 2,400  | 10      |
| 管理部門    | 350      | 3,000  | 10      |
| 合 計     | -        | 17,000 | 100     |

※舞台・客席等の機構・  
設備費を含む

建物以外を含めた整備事業全体の事業費の見込みは135億円を上限とします。

#### ○ 財源見込み

|          |       |                   |
|----------|-------|-------------------|
| まちづくり交付金 | 14億円  | 高次都市施設(施設)、市民緑地広場 |
| 合併特例債    | 111億円 | 後年度交付税措置78億円      |
| 一般財源     | 10億円  | (一部基金充当見込み)       |
| 合 計      | 135億円 | (市の最終的な負担見込額43億円) |

### 4 運営管理計画

---

#### ○ 基本方針

基本理念と目標に基づいた事業展開を、積極的かつ効率的に実践できる組織・体制づくり

- ① 専門人材による運営管理
- ② 地域へのノウハウの蓄積
- ③ 事業の継続性・発展性
- ④ 事業展開がしやすい組織・体制
- ⑤ 市民との協働
- ⑥ 企業メセナの活用

### 5 事業計画

---

#### ○ ホール部分の事業内容

- ① 自主事業…鑑賞事業、育成事業、創造・創作支援事業
- ② 貸館事業…地域の文化活動支援、プロ公演支援、大会・集会利用の促進

#### ○ 美術館の事業内容

収集・管理活動、展示活動、参加・体験活動、アウトリーチ活動、広報活動



## 6 運営管理費計画

### ○ 収支試算表

| 項目                        |                                     |                         | 年間金額（百万円） |
|---------------------------|-------------------------------------|-------------------------|-----------|
| 支出                        | 維持管理費<br>（他施設平均値<br>から試算）           | ホール部分（15 千円/㎡×9,100 ㎡）  | 1 3 6     |
|                           |                                     | 美術館部分（15 千円/㎡×2,500 ㎡）  | 3 7       |
|                           |                                     | 交流施設部分（12 千円/㎡×2,400 ㎡） | 2 8       |
|                           |                                     | 管理部門（10 千円/㎡×3,000 ㎡）   | 3 0       |
|                           |                                     | 小計                      | 2 3 1     |
|                           | 事業費                                 | ホール部分自主事業費              | 4 0       |
|                           |                                     | 美術館自主事業費                | 1 0       |
|                           |                                     | 小計                      | 5 0       |
|                           | 人件費                                 | ホール・美術館（合計 20 名程度）      | 1 0 0     |
|                           | 支出合計                                |                         | 3 8 1     |
| 収入                        | 利用料収入<br>（市内施設及び<br>他施設平均値<br>から試算） | 大ホール                    | 2 7       |
|                           |                                     | 小ホール                    | 5         |
|                           |                                     | 交流施設                    | 5         |
|                           |                                     | 美術館                     | 5         |
|                           |                                     | 小計                      | 4 2       |
|                           | 事業収入<br>（他施設平均値<br>等から試算）           | ホール部分                   | 2 0       |
|                           |                                     | 美術館                     | 5         |
|                           |                                     | 小計                      | 2 5       |
|                           | 収入合計                                |                         | 6 7       |
|                           | 収支差                                 |                         | 3 1 4     |
| 現施設（上田市民会館・山本鼎記念館）の維持管理経費 |                                     | △ 8 0                   |           |
| 実質増加額                     |                                     | 2 3 4                   |           |

## 7 エリア・マネジメント

---

### ○ 地域・施設等との連携

- ① 施設内の連携
- ② 周辺との連携
- ③ 関連各所との連携
- ④ 既存施設との連携、役割分担

### ○ 市民との連携・協働

- ・市民とともに歩む施設として
- ・市民ボランティア
- ・説明責任

## 8 整備スケジュール

---

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 平成 22 年度から平成 23 年度 | 基本設計、実施設計 |
| 平成 24 年度から平成 25 年度 | 建設工事      |
| 平成 25 年度末          | 竣工        |
| 平成 26 年度           | 開館        |

●交流・文化施設に関する ご意見・ご提言、またお問い合わせ等は

〒386-8601

上田市大手一丁目11-16

上田市役所 政策企画局 交流・文化施設建設準備室

電 話 : 0268-23-5219 (直通)

FAX : 0268-25-4100 (代表)

メール : koryubunka@city.ueda.nagano.jp

●整備計画書は、上田市のホームページでもご覧いただけます。

URL : [www.city.ueda.nagano.jp/hp/ht/koryubunka](http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ht/koryubunka)